



指定統計
第 97 号

この調査票は、統計以外の目的には使用しませんから、
ありのままを記入してください。

平成 16 年全国消費実態調査

家計簿 A



月 分

都道府県市区町村番号	調査単位区分号	一連世帯番号	世帯の別	世帯区分	世帯人員	就業人員
			1 二人以上 2 一人 3 無 4 勤労 5 勤労以外 6 職			

総務省統計局

I 口座自動振替による支払

- 「1」～「22」以外のものについては、「支払内訳」の種類、品目別に今月の支払額を記入してください。
○クレジットカード、掛払い、月賦による購入分の支払をしたときは、「カード払い 掛払い 月賦」欄に「○」を記入してください。
○「家計簿の記入のしかた」を参照して記入してください。

日付	支払内訳 (種類 品名等)	カード払い 掛払い 月 賦	今月の支払額 (円)	総務省 統計局 記入欄
日 1	電気料金 (月分)			430
日 2	都市ガス料金 (月分)			431
日 3	プロパンガス料金 (月分)			432
日 4	水道料金 (月～ 月分)			440
日 5	NHK放送受信料 (月～ 月分)			88A
日 6	インターネット接続料 (月分)			88B
日 7	ケーブルテレビ受信料 (月分)			88B
日 8	インターネット接続料 (月分)			88Y
日 9	固定電話料金 (月分)			762
日 10	移動電話料金 (月分)			763
日 11	新聞代 (月分)			850
日 12	一般の中央・地方新聞 (文字・スポーツ紙を除く) 業界紙など (月分)			859
日 13	住宅ローンの返済 (月分)			088
日 14	家 賃 (月分)			460
日 15	共益費又は管理費 (月分)			975
日 16	月極駐車場料金 (月分)			75X
日 17	学校給食費 () (月分)			29X
日 18	学校授業料 () (月分)			
日 19	PTA会費・学校教材費 () (月分)			
日 20	国民年金掛金 (月分)			073
日 21	国民健康保険料 (月分)			074
日 22	保険料 (積立・掛け捨て) (月分)			
日 23				
日 24				
日 25				
合 計				040

調査票様式

I 口座自動振替による支払 (つづき)

日付	支払内訳 (種類 品名等)	カード払い 振替 月 賦	今月の支払額 (円)	総務省 統計局 記入欄
日 26				
日 27				
日 28				
日 29				
日 30				
日 31				
日 32				
日 33				
日 34				
日 35				
日 36				
日 37				
日 38				
日 39				
日 40				
日 41				
日 42				
日 43				
日 44				
日 45				
日 46				
日 47				
日 48				
日 49				
日 50				
日 51				
日 52				
合 計				040

II 現金収入又は現金支出

日

現金収入

○収入は、税金などが差し引かれる前の総額で、だれの収入か、収入の種類・内訳がわかるように記入してください。

現金支出

○収入から差し引かれた控除(税金、社会保険料、財形貯蓄など)の明細がわかるように記入してください。

○「しょう油」「子供くつ下」「かぜ薬」などのように個々の品名を具体的に記入してください。

○贈答、見舞い、接待など交際用の支出は、品名の後にその用途を明記してください。

○「家計簿の記入のしかた」を参照して記入してください。

前月からの繰越金 円 050

収入の種類又は 支出の品名及び用途	現金収入 〔預貯金引き出し〕 〔借入金を含む〕 (円)	現金支出 〔収入からの控除 預貯金預 け入れ 借入金返済を含む〕 (円)	総務省 統計局 記入欄
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
本 日 の 合 計			
本日の現金残高			円

Ⅲ クレジットカード、掛買い、月賦による購入又は
現物（現物支給、もらい物、自家産、自分の店の商品）

日

- 掛買いで購入した場合は、「1」（一括払い購入）、月賦で購入した場合は、「2」（分割払い購入）を「○」で囲みます。
○掛買い、月賦で購入したときの金額は、購入金額の総額を記入してください。
○掛買いや月賦の支払、頭金や手付金の支払は、ここには記入しないでください。（口座自動振替による支払の場合は、「1」（口座自動振替による支払）に、現金の場合は、「11」（現金収入又は現金支出）に記入してください。）
○現物とは、勤め先から支給された定期券、よそからのもらい物、自家産の野菜や自分の店の商品などを家計用として使った場合をいいます。
○贈答、見舞い、接待などの用途は、品名の後にそのことを明記してください。
○「家計簿の記入のしかた」を参照して記入してください。

品名用途 支払方法	金 額						総務省 統計局 記入欄
	1	2	3	4	5	6	
	一括払い購入	分割払い購入	現物支給	もらい物	自家産	自分の店の商品	
1	1	2	3	4	5	6	
2	1	2	3	4	5	6	
3	1	2	3	4	5	6	
4	1	2	3	4	5	6	
5	1	2	3	4	5	6	
6	1	2	3	4	5	6	
7	1	2	3	4	5	6	
8	1	2	3	4	5	6	
9	1	2	3	4	5	6	
10	1	2	3	4	5	6	
11	1	2	3	4	5	6	
12	1	2	3	4	5	6	
13	1	2	3	4	5	6	
14	1	2	3	4	5	6	
15	1	2	3	4	5	6	
16	1	2	3	4	5	6	
17	1	2	3	4	5	6	
18	1	2	3	4	5	6	
19	1	2	3	4	5	6	
20	1	2	3	4	5	6	
21	1	2	3	4	5	6	
22	1	2	3	4	5	6	
23	1	2	3	4	5	6	

秘

指定統計
第 97 号

この調査票は、統計以外の目的には使用しませんから、
ありのままを記入してください。

平成 16 年 全 国 消 費 実 態 調 査

家 計 簿 B



11 月 分

都道府県市区町村番号	調査単位区分番号	一連世帯番号	世帯の別		世帯区分			世帯人員	就業人員
			1 2人以上以上	2 単身	1 勤労	2 勤労以外	3 無職	人	人

総 務 省 統 計 局

Ⅱ 現金収入又は現金支出

現金収入

○収入は、税金などが差し引かれる前の総額で、だれの収入か、収入の種類・内訳がわかるように記入してください。

現金支出

○収入から差し引かれた控除(税金、社会保険料、財形貯蓄など)の明細がわかるように記入してください。

○「しょう油」、「子供くつ下」、「かせ薬」などのように個々の品名を具体的に記入してください。

○贈答、見舞い、接待など交際用の支出は、品名の後にその用途を明記してください。

○「家計簿の記入のしかた」を参照して記入してください。

前月からの繰越金

円

0500

収入の種類又は 支出の品名及び用途	現金収入 (預貯金引き出し 借入金を含む) (円)	現金支出 (収入からの控除 預貯金預け入れ 借入金返済を含む) (円)	購入先									総務省 統計局 記入欄
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	
			一般小売店	スーパーマーケット	百貨店	生協・購買	ドラッグストア	通信販売	その他	その他	その他	
1			1	2	3	4	5	6	7	8	9	
2			1	2	3	4	5	6	7	8	9	
3			1	2	3	4	5	6	7	8	9	
4			1	2	3	4	5	6	7	8	9	
5			1	2	3	4	5	6	7	8	9	
6			1	2	3	4	5	6	7	8	9	
7			1	2	3	4	5	6	7	8	9	
8			1	2	3	4	5	6	7	8	9	
9			1	2	3	4	5	6	7	8	9	
10			1	2	3	4	5	6	7	8	9	
11			1	2	3	4	5	6	7	8	9	
12			1	2	3	4	5	6	7	8	9	
13			1	2	3	4	5	6	7	8	9	
14			1	2	3	4	5	6	7	8	9	
15			1	2	3	4	5	6	7	8	9	
16			1	2	3	4	5	6	7	8	9	
17			1	2	3	4	5	6	7	8	9	
18			1	2	3	4	5	6	7	8	9	
19			1	2	3	4	5	6	7	8	9	
20			1	2	3	4	5	6	7	8	9	
本日 の 合 計			1	2	3	4	5	6	7	8	9	

本日の現金残高

円

Ⅲ クレジットカード、掛買い、月賦による購入又は 現物(現物支給、もらい物、自家産、自分の店の商品)

○掛買いで購入した場合は、「1」(一括払い購入)、月賦で購入した場合は、「2」(分割払い購入)を「○」で囲みます。

○掛買い、月賦で購入したときの金額は、購入金額の総額を記入してください。

○掛買いや月賦の支払、頭金や手付金の支払は、ここには記入しないでください。(口座自動振替による支払の場合は、「1」口座自動振替による支払に、現金の場合は、「1」現金収入又は現金支出に記入してください。)

○現物とは、勤め先から支給された定期券、よそからのもらい物、自家産の野菜や自分の店の商品などを家計用として使った場合をいいます。

○贈答、見舞い、接待などの用途は、品名の後にそのことを明記してください。

○「家計簿の記入のしかた」を参照して記入してください。

品名用途 支払方法	金額 現物は 市価見積額 (円)	購入先									総務省 統計局 記入欄
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
		一般小売店	スーパーマーケット	百貨店	生協・購買	ドラッグストア	通信販売	その他	その他	その他	
1		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
2		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
3		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
4		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
5		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
6		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
7		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
8		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
9		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
10		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
11		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
12		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
13		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
14		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
15		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
16		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
17		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
18		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
19		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
20		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
21		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
22		1	2	3	4	5	6	7	8	9	

秘

平成16年全国消費実態調査

3

耐久財等調査票

平成16年10月末日現在

指定統計第97号
総務省統計局

都道府県市区町村番号	調査単位区分	一連世帯番号	世帯の別	世帯区分
			① 単 ② 世帯主 ③ 同居の親 ④ 同居の兄弟姉妹 ⑤ 同居の親戚 ⑥ 同居の知人 ⑦ 同居のその他	① 世帯主 ② 同居の親 ③ 同居の兄弟姉妹 ④ 同居の親戚 ⑤ 同居の知人 ⑥ 同居のその他

この調査票の内容は、統計以外の目的、例えば課税などの資料には絶対使用しませんから、ありのままを記入してください。

(記入のしかた)

- 数字で記入する欄は、□の枠内に1文字ずつ右の例のように記入してください。
- 記入には黒の鉛筆を使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。

数字の記入例

縦線1本	すきまを開ける	上につまみ上げる	角をつける	閉じる
0	1	2	3	4
5	6	7	8	9

◎事業用のものは除いてください。また、家計用と事業用で共用している場合で、主として事業用に使用しているものは除いてください。

◎中古で購入した場合やよそからもらった場合は、購入又はもらったときを取得時期とします。

I 家具・電気製品等

品目ごとに所有総数及び取得時期別所有数を記入してください。

品 名	所有総数	取得時期別所有数				品 名	所有総数	取得時期別所有数				品 名	所有総数	取得時期別所有数			
		過去1年以内	過去1年～5年以内	過去5年～15年以内	過去15年以上			過去1年以内	過去1年～5年以内	過去5年～15年以内	過去15年以上			過去1年以内	過去1年～5年以内	過去5年～15年以内	過去15年以上
(1)和だんす(作り付けを除く)						(8)冷蔵庫(300ℓ未満)						(15)プラズマテレビ					
(2)洋服だんす(作り付けを除く)						(9)冷蔵庫(300ℓ以上)						(16)液晶テレビ					
(3)茶だんす・食器戸棚						(10)洗濯機						(17)カラーテレビ(29インチ以上)					
(4)システムキッチン						(11)ルームエアコン						(18)カラーテレビ(29インチ未満)					
(5)給湯器(ガス瞬間湯沸器を除く)						(12)ピアノ						(19)ビデオカメラ(デジタルを含む)					
(6)洗髪洗面化粧台						(13)DVDレコーダー						(20)カメラ(デジタルカメラを含む)					
(7)温水洗浄便座						(14)ビデオテープレコーダー						(21)パソコン					

品目ごとに所有総数を記入してください。

品 名	所有総数	品 名	所有総数	品 名	所有総数
(22)整理だんす(作り付けを除く)		(29)ベッド・ソファベッド(作り付けを除く)		(36)電気こたつ	
(23)鏡台(ドレッサー)		(30)じゅうたん(5万円以上のもの)		(37)太陽熱温水器	
(24)ユニット家具(購入価格が20万円以上)		(31)電気掃除機		(38)書斎・学習用机(ライティングデスクを含む)	
(25)応接セット(3点セット以上)		(32)自動炊飯器(遠赤釜 I H型)		(39)ステレオセット又はCD・MDラジオカセット	
(26)応接用座卓(食卓を除く)		(33)電子レンジ(電子オープンレンジを含む)		(40)ファクシミリ(コピー付を含む)	
(27)サイドボード・リビングボード		(34)食器洗い機		(41)ゴルフ用具一式(ハーフセットを含む)	
(28)食堂セット(食卓と椅子のセット)		(35)電動ミシン		(42)携帯電話(PHSを含む)	

(裏面へ続く)

この調査票は機械にかかけますので汚したり折ったり丸めたりしないでください

(記入のしかた)

- 記入する欄が□の場合は、右の例のようにぬりつぶしてください。
- 数字で記入する欄は、□の枠内に1文字ずつ記入してください。

□の記入例



II 自動車、自動二輪車及び原動機付自転車

所有している自動車、自動二輪車及び原動機付自転車について、国産・輸入の別、取得時期、初度登録年、排気量を記入してください。

国産・輸入の別		取得時期	初度登録年(年式)	排気量			
自動車	☐ 国産車	☐ 昭和 □.□ 年	☐ 昭和 □.□ 年	☐ 660cc以下	☐ 661~1000cc	☐ 1001~1500cc	☐ 1501~2000cc
	☐ 輸入車	☐ 平成 □.□ 年	☐ 平成 □.□ 年	☐ 2001~3000cc	☐ 3001cc以上		
	☐ 国産車	☐ 昭和 □.□ 年	☐ 昭和 □.□ 年	☐ 660cc以下	☐ 661~1000cc	☐ 1001~1500cc	☐ 1501~2000cc
	☐ 輸入車	☐ 平成 □.□ 年	☐ 平成 □.□ 年	☐ 2001~3000cc	☐ 3001cc以上		
	☐ 国産車	☐ 昭和 □.□ 年	☐ 昭和 □.□ 年	☐ 660cc以下	☐ 661~1000cc	☐ 1001~1500cc	☐ 1501~2000cc
	☐ 輸入車	☐ 平成 □.□ 年	☐ 平成 □.□ 年	☐ 2001~3000cc	☐ 3001cc以上		
	☐ 国産車	☐ 昭和 □.□ 年	☐ 昭和 □.□ 年	☐ 660cc以下	☐ 661~1000cc	☐ 1001~1500cc	☐ 1501~2000cc
	☐ 輸入車	☐ 平成 □.□ 年	☐ 平成 □.□ 年	☐ 2001~3000cc	☐ 3001cc以上		
自動二輪車及び原動機付自転車	☐ 国産車	☐ 昭和 □.□ 年	☐ 昭和 □.□ 年	☐ 50cc以下	☐ 51~125cc	☐ 126~250cc	☐ 251~500cc
	☐ 輸入車	☐ 平成 □.□ 年	☐ 平成 □.□ 年	☐ 501~650cc	☐ 651~750cc	☐ 751cc以上	
	☐ 国産車	☐ 昭和 □.□ 年	☐ 昭和 □.□ 年	☐ 50cc以下	☐ 51~125cc	☐ 126~250cc	☐ 251~500cc
	☐ 輸入車	☐ 平成 □.□ 年	☐ 平成 □.□ 年	☐ 501~650cc	☐ 651~750cc	☐ 751cc以上	
	☐ 国産車	☐ 昭和 □.□ 年	☐ 昭和 □.□ 年	☐ 50cc以下	☐ 51~125cc	☐ 126~250cc	☐ 251~500cc
	☐ 輸入車	☐ 平成 □.□ 年	☐ 平成 □.□ 年	☐ 501~650cc	☐ 651~750cc	☐ 751cc以上	

この調査票は機械にかけますので汚したり折ったり丸めたりしないでください。

III その他の耐久消費財等

I. IIで記入した品目以外に所有している耐久消費財(購入価格が10万円以上のもの)がある場合は、品名、所有総数、取得時期別所有数及び購入価格を記入してください。

○ 衣類や宝石・貴金属、書画、骨とう品は記入しないでください。

品名	所有総数	取得時期別所有数				購入価格 (同一品目を複数所有している場合は、総購入価格を記入してください。)	総務省統計局 記入欄
		過去1年以内	過去1年11月以内	過去5年以内	過去5年以上		
	□.□.□.□	□.□.□.□	□.□.□.□	□.□.□.□	□.□.□.□	□.□.□.□	□.□.□.□
	□.□.□.□	□.□.□.□	□.□.□.□	□.□.□.□	□.□.□.□	□.□.□.□	□.□.□.□
	□.□.□.□	□.□.□.□	□.□.□.□	□.□.□.□	□.□.□.□	□.□.□.□	□.□.□.□
	□.□.□.□	□.□.□.□	□.□.□.□	□.□.□.□	□.□.□.□	□.□.□.□	□.□.□.□

○ II, IIIで、記入欄の数を超過して耐久消費財等を所有している場合は、必要とする枚数の調査票をもらって記入してください。

IV ゴルフ会員権等

ゴルフ会員権(時価)、ゴルフ会員権以外のスポーツ・レジャークラブ会員権(購入価格)及びリゾートクラブ会員権(購入価格)が5万円以上のものを所有している場合に、所有数及び金額を記入してください。

品名	所有数	金額 (複数所有している場合は、総額を記入してください。)
ゴルフ会員権	□.□.□.□	(時 価) □.□.□.□ 万円
ゴルフ会員権以外のスポーツ・レジャークラブ会員権	□.□.□.□	(購入価格) □.□.□.□ 万円
リゾートクラブ会員権	□.□.□.□	(購入価格) □.□.□.□ 万円

秘

指定統計第97号
総務省統計局

平成16年全国消費実態調査

年収・貯蓄等調査票

平成16年11月末日現在

5

都道府県市区町村番号	調査単位区分	一連世帯番号	世帯の別	世帯区分
●●●●●●●●	●●	●●●●●●	(二)(単)	(動)(外)(無)

世帯内 一連番号
●●●●●●

この調査票の内容は、統計以外の目的、例えば課税などの資料には絶対使用しませんから、ありのままを記入してください。

(記入のしかた)

- ・該当する□の枠内には数字を1文字ずつ記入してください。
- ・記入には黒の鉛筆を使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。

数字の記入例

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
縦線1本	すきまを開ける	上に突きぬける	角をつける	閉じる					
	はねない								

1 年間収入について

あなたの世帯の過去1年間(平成15年12月から16年11月)の年間収入(税込み)はだいたいどれくらいになりますか。

- 退職金、土地・家屋、株式などの財産売却によって得た収入及び相続した預貯金など一時的な収入は除いてください。
- 収入のある各世帯員について収入の種類ごとに金額を記入してください。
- だれの分かはっきりしないものは、世帯主の分に含めて記入してください。
- 他の世帯員は、③、④のそれぞれ該当する世帯員の合計を記入してください。

収入の種類	①世帯主	②世帯主の配偶者	他の世帯員	
			③65歳以上	④65歳未満
(1)勤め先からの年間収入 ※1	(億) 千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円
(2)農 林 漁 業 収 入 ※2	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円
(3)農林漁業以外の事業収入 ※3	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円
(4)内職などの年間収入 ※4	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円
(5)家賃・地代の年間収入	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円
(6)公 的 年 金 ・ 恩 給	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円
(7)企業年金・個人年金受取金	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円
(8)利 子 ・ 配 当 金	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円
(9)親族などからの仕送り金	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円
(10)そ の 他 の 年 間 収 入	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円	千 百 十 一 万円
(11)現物消費の年間見積り額 ※5	千 百 十 一 万円			

< 裏面へ続く >

(記入上の注意点)

- ※1 毎月支給される本給、扶養手当、役付手当のほか、超過勤務手当、出来高歩合金、賞与・その他の臨時収入などを含めた勤め先からの収入総額を記入してください。事業経営のかたわら勤めている人の場合、その勤め先からの収入もここに記入してください。
- ※2 米、野菜、果物、魚などの農林水産物の売上高から、農機具、肥料、飼料、漁網などの材料費、支払労賃、事業税、固定資産税などの経営上の諸経費を差し引いた純益を記入してください。
- ※3 売上高から、仕入高、原材料費、人件費、消耗品費、事業税、固定資産税などの経営上の諸経費を差し引いた純益を記入してください。
- ※4 勤め先、事業からの収入以外の収入で、原稿執筆、個人教授、手内職などにより働いて得た収入は、いずれも材料費などの経費を差し引いた純益を記入してください。
- ※5 米、野菜、魚、卵などの自家産物や自分の店の商品を、過去1年間に家計で消費した分の見積り額を記入してください。

この調査票は機械にかけますので汚したり折ったり丸めたりしないでください

2 貯蓄現在高について

あなたの世帯では、平成16年11月末日現在で貯蓄はいくらありますか。

- 次の貯蓄の種類ごとに現在高を記入してください。
- ここでいう貯蓄には、家計用だけでなく個人営業のための分も含めます。
- 勤労者財産形成貯蓄に加入している場合は、それぞれ該当する貯蓄の種類に含めて記入してください。

		(億) 千 百 十 一	
(1) 郵便局	定額・定期・積立貯金		万円
	通 常 貯 金		万円
(2) 銀行 信用金庫・信用組合 農業協同組合 労働金庫 その他の金融機関	定期預金・定期積金		万円
	普通・当座預金 その他の預金		万円
(3) 生命保険 損害保険 簡易保険(保険商品・年金商品)	(加入してから払込総額) ※掛け捨ての保険は含めません		万円
(4) 貸付信託 金銭信託 (額面)			万円
(5) 株式・株式投資信託 (時価)			万円
(6) 債券 (額面) 公社債投資信託 (時価)			万円
(7) その他 (社内預金など)	 (名称を具体的に記入してください)		万円
(8) 合 計			万円
(9) 上記(8)のうち年金制度が組みこまれている貯蓄			万円
(10) 上記(8)のうち外貨預金・外債			万円

3 借入金残高について

あなたの世帯では、平成16年11月末日現在で借入金あるいは月賦・年賦の未払残高がありますか。

- 借入金の種類ごとに残高を記入してください。
- ここでいう借入金には、家計用だけでなく個人営業のための分も含めてください。

		(億) 千 百 十 一	
(1) 月賦・年賦の未払残高	 *乗用車、電化製品などの耐久消費財や衣類などを 月賦・年賦(分割払い)で購入した場合の未払残高		万円
(2) 住宅の購入・建築・増改築 土地の購入のための借入金残高			万円
(3) (1)及び(2)以外の借入金残高			万円

記入が済みましたら、もう一度内容を確認して、別にお配りした封筒に入れ、密封して、調査員にお渡しください。ご協力ありがとうございました。

この調査票は機械にかかけますので 汚したり 折ったり 丸めたりしないでください

V 現住居等に関する事項について (つづき)

2

(23) 水洗式トイレの有無 (持ち家のみ)	(24) 地代の有無 (持ち家のみ)	(25) 住居の敷地面積 (持ち家のみ)	(26) 住居の建築時期 (持ち家のみ)	(27) 入居時期 (持ち家以外のみ)	VI 単身世帯の人はこの欄も 記入してください
水洗式であれば、 共用の場合でも 「有」としてください ☐ 無 ☐ 有	無 ☐ あなた又はあなたの家族名義 の土地 (共有名義を含む) ☐ 住居又は生計をともしない 親等の名義の土地 有 ☐ 地代を支払っている	・借地の場合も記入してください ・マンションなどの共同住宅や長屋建の場合は、むね 全体の敷地ではなく、住んでいる住宅の敷地相当分 (区分所有分) について記入してください 千 百 十 一 : : : : : : : : m ²	☐ 昭和30年以前 ☐ 昭和 ☐ 平成 : : 年 → (28)へ つづく	☐ 昭和63年以前 ☐ 平成 : : 年	(28) 単身世帯の形態 ☐ 単身赴任 ☐ 出稼ぎ ☐ その他 → (29)へつづく → 記入は終わりです

・坪をm²に換算するときは3.3倍してください

・昭和64年・平成元年は、平成1年と記入してください

VII 現在住んでいる住居以外の住宅及び土地について

〔現住居以外の住宅又は土地について〕
(29)から(30)欄に記入してください

・家族以外の人と共有名義で所有している場合は、家族の所有分を記入してください

・共同住宅及び長屋の場合は、家族の所有分を記入してください

・なお、所有する住宅の延べ床面積及び敷地面積が不明の場合は、その共同住宅の総住宅面積及び総敷地面積を総住宅数であん分してください

(29) 現住居以外の住宅をあなた又はあなたの家族名義で所有していますか(法人名義は除く)

☐ 所有している
(別荘用は「その他」としてください)

☐ 所有していない → (30)へつづく

(30) 現居住地以外の土地(住宅用)をあなた又はあなたの家族名義で所有していますか(法人名義は除く)

☐ 住宅用として土地を所有している

☐ 所有していない → 記入は終わりです

	用 途	建 築 時 期	住宅の延べ床面積	住宅の構造
①	☐ 親族居住用	☐ 昭和30年以前	千 百 十 一 : : : : m ²	☐ 木造 ☐ 防火木造 ☐ 鉄骨・鉄筋 ☐ コンクリート造 ☐ その他
	☐ 賃貸用	☐ 昭和 : : 年 ☐ 平成 : : 年	千 百 十 一 : : : : m ²	同上
	☐ その他			
②	☐ 親族居住用	☐ 昭和30年以前	千 百 十 一 : : : : m ²	同上
	☐ 賃貸用	☐ 昭和 : : 年 ☐ 平成 : : 年	千 百 十 一 : : : : m ²	同上
	☐ その他			
③	☐ 親族居住用	☐ 昭和30年以前	千 百 十 一 : : : : m ²	同上
	☐ 賃貸用	☐ 昭和 : : 年 ☐ 平成 : : 年	千 百 十 一 : : : : m ²	同上
	☐ その他			

↓
(30)へつづく

・昭和64年・平成元年は、
平成1年と記入してください

・坪をm²に換算するときは3.3倍してください

	所在地	都道府県	市 郡	区町村
①	☐ 住宅が建っている土地 (親族居住用)			
	☐ 住宅が建っている土地(賃貸用)			
	☐ その他			
②	☐ 住宅が建っている土地 (親族居住用)			
	☐ 住宅が建っている土地(賃貸用)			
	☐ その他			
③	☐ 住宅が建っている土地 (親族居住用)			
	☐ 住宅が建っている土地(賃貸用)			
	☐ その他			

・坪をm²に換算するときは3.3倍してください

・該当する住宅又は土地を4か所以上所有している場合は、必要とする枚数の調査票をもらって記入してください

この調査票は機械にかけますので 汚したり 折ったり 丸めたりしないでください



指定統計
第 97 号

○ この調査票は、統計以外の目的には使用しませんから、
ありのままを記入してください。

平成 16 年全国消費実態調査

家 計 簿 C



月 分

都道府県市区町村番号	調査単位区符号	一連世帯番号	世帯区分			世帯人員	就業人員
			1 勤 労	2 勤 労 以 外	3 無 職	人	人

総 務 省 統 計 局

現金支出

日

○ 次の場合に記入してください。

- ・ 世帯員にこづかいを渡したとき
- ・ 世帯員の個人的な支出について把握したとき

支出の品名及び用途	現金支出 (円)	総務省 統計局 記入欄
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		



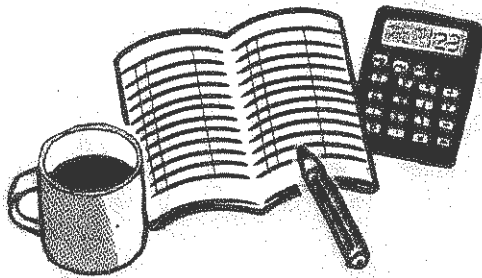
指定統計
第 97 号

○この調査票は、統計以外の目的には使用しませんから、
ありのままを記入してください。

○この調査票では、18歳以上の各世帯員について、家計用
ではなく個人的な収入及び支出が対象となります。

平成 16 年全国消費実態調査

個人収支簿



月 分

都道府県 市区町村番号	調査単位区分号	一連世帯番号	世帯区分	世帯員 番 号	続 き 柄
			1 2 3 勤 勤 無 労 労 職		

総 務 省 統 計 局

問 あなたにはこづかい又は収入がありますか。
該当する番号を○で囲んでください。

- 1 こづかいがある
- 2 家計に入れた残りを自由に使う
- 3 収入はあるが、家計にまったく入れていない
- 4 家計費とこづかいを区別していない

I 個人的な収入

○ 個人的な収入を記入してください。

日付	収入の種類	金額 (円)	総務省統計局使用欄	
			家計簿 記入有無	収支符号
	前月からの繰越金			
日			1 有 2 無	
日			1 有 2 無	
日			1 有 2 無	
日			1 有 2 無	
日			1 有 2 無	
日			1 有 2 無	
日			1 有 2 無	
日			1 有 2 無	
日			1 有 2 無	
日			1 有 2 無	
合 計				

II 個人的な支出

○ 個人的な支出を記入してください。

支出の内容	金額 (円)	総務省統計局使用欄	
		家計簿 記入有無	収支符号
外食		1 有 2 無	
		1 有 2 無	
		1 有 2 無	
		1 有 2 無	
		1 有 2 無	
		1 有 2 無	
		1 有 2 無	
		1 有 2 無	
		1 有 2 無	
本日の支出合計			999
メ モ			